

令和4年度校内研について

R4年4月25日

南部町立南部中学校

1. 研究主題 「気づき・考え・表現し合える生徒の育成」

2. 研究副主題 『「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけて』

3. 研究主題・副主題設定の理由

研究主題は以前より「気づき・考え・表現し合える生徒の育成」と設定してきた。

副主題に関しては、4年前より『「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけて』と設定し、研究を重ねている。生徒たちがこれからの時代を生き抜くためには、答えのない問いに対して、主体的に考え、他者と協働しながら自分たちなりの答えを見つけ、実践していく必要がある。そのために必要な資質・能力が「気づき・考え・表現しあえる力」であり、その基盤となる授業改善や授業づくりを、校内研を通して進めていきたい。

4年前より、新学習指導要領が要求する「主体的・対話的で深い学び」とは何か、そのとらえ方を議論しあうところからスタートし、特に「主体的・対話的」な学びの実現にむけて授業を見直した。さらに単元構想を作成することで、生徒たちが「気づき・考え・表現し合える」力をつけることができると考え、校内研を進めてきた。加えて、昨年度は、「ICT活用」「評価」「集団づくり」についての構内研修を実施してきた。

これまでの「主体的・対話的で深い学び」の研究を生かしながら、今年度も授業改善を行い、研究を深めていくことをめざして、本副主題を設定した。

4. 研究仮説

「主体的・対話的で深い学び」についての理論研究を深め、ICT活用や集団づくりについての校内研修を実施し実践につなげ、さらには授業実践に学びながら授業改善を推進することにより、新しい時代に必要とされる資質・能力が育成される。教職員にとっては、「主体的・対話的で深い学び」とはどのような学びなのか、授業実践や単元構想を通して明確になり、授業力の向上につながる。それによって「気づき・考え・表現し合える生徒」が育成されていくであろう。4

～「主体的・対話的で深い学び」のイメージ（文科省作成資料より）～

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

【対話的な学び】

子ども同士の協働、教員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

【深い学び】

各教科等で習得した概念や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせ、問いを見いだして解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想、創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

5. 研究の内容

(1) 理論的研究…文献先行実践の学習会、

文科省の資料や様々な書籍等において、「主体的・対話的で深い学び」について発表されている。また、様々な先行研究、先行実践が存在している。それらをもとに、全体で、さらに教科内研究会やブロック研究会を開き、教職員が学びあい、共有し合う。

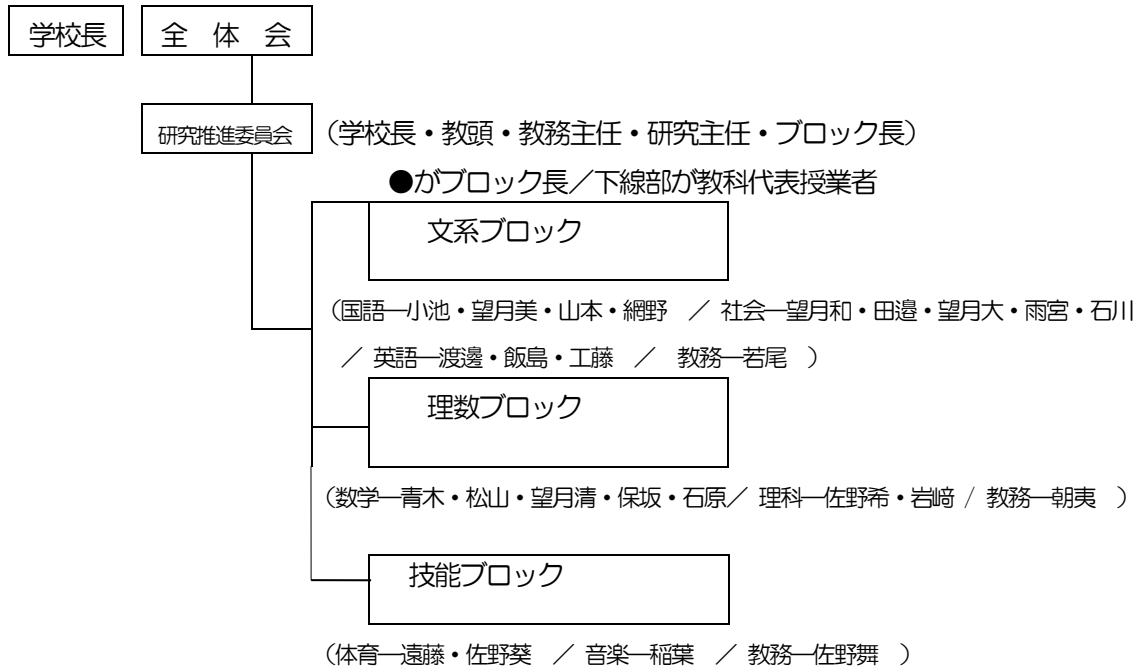
(2) 授業実践…研究授業、一人一実践

「主体的とは」「対話的とは」「深い学び」とはどのようなことをいうのか、そのためにはどのような手立てが必要なのかなどを教科でさらに共有しあい、それらに基づいた授業実践や研究授業を行う。さらに今年度も、昨年度の継続に加え、「ICTの活用」にも積極的に取り組んでいく。また、教科ごと「単元構想」の作成と、「山梨スタンダード」を意識した授業改善を通して、研究主題の実現をめざす。年度当初に実施時期の計画を立て、ブロックの中で授業参観ができる体制をつくる。

(3) 研修の実施…ICT活用、集団づくり

一昨年度のまとめの中で、ICTの活用と集団づくりの重要性が確認された。また、研究と研修を分けて考えることが提案された。昨年度は、それら意見を踏まえ、校内研究で目指す授業改善につなげていくために、理論的研究よりも実践につなげやすい、研修を企画し実施してきた。今年度も継続して校内研修を充実させていく。

6 研究組織



7 年間計画 — 全体会・各教科の授業公開日など

	日時	曜	内容	ブロック別	教科別
第1回	4月5日	火	昨年度の課題と今年度のテーマの確認		
第2回	4月25日	月	今年度の研究について決定	1)ブロック長の決定	2)1人1実践の計画
第3回	5月23日	月	教科別・ブロック別 研究会	2)教科を越え情報交換	1)今年度の方向性検討
第4回	6月20日	月	今年度の各教科の方向性報告		
第5回	7月12日	火	【 研究授業① 保健体育 】		
第6回	8月19日	金	教育課程還流報告	2)教科を越え情報交換	1) 評価情報交換
第7回	9月26日	月	★集団づくり研修会		
第8回	10月17日	月	【 研究授業② 数学 】		
第9回	10月31日	月	★ICT研修会		
第10回	12月10日	月	【 研究授業③ 社会 】		
第11回	1月11日	月	研究紀要について・ICT実践記録		1)今年度のまとめ
第12回	2月13日	月	今年度の総括		
第13回	3月20日	月	研究のまとめ・来年度に向けて		

【参考】「山梨スタンダード」授業づくりの7つの視点

- (1) 授業の始めに児童生徒に授業のめあて(目標)を示している。
- (2) 話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れている。
- (3) 児童生徒は、他の人の話や発表に耳を傾けている。
- (4) 児童生徒は、ノートをとっている。
- (5) 活用・探求など、学んだことを別の場面で使うようにしている。
- (6) 授業や単元の終わりに、児童生徒がめあて(目標)を達成しているかを評価している。
- (7) 家庭学習(宿題や課題)と授業が、有機的に結びついている